

飼料用とうもろこしの安定生産の推進

～自給飼料の安定生産に向けた取り組み～

釧路中西部支所地域係 釧路市音別町

◇ 活動のねらい

釧路市音別町のTMRセンター(合)フィードセンタービーナスの現状



【目標】 飼料用とうもろこしの安定生産に向けた取組による自給飼料確保

1 活動の経過

【R3年の提案と成果】



【R4年の提案】

- (1) イヌキクイモ防除に向けた除草剤の茎葉散布面積の拡大および除草剤散布試験の実施
- (2) 電気柵設置面積の拡充によるシカ食害防止および電気柵の下草管理

R4年3月の研修会で提案

R4年6月
除草剤の茎葉散布試験の実施

R4年5月・7月
電気柵の下草への
除草剤散布および刈り取りの実施

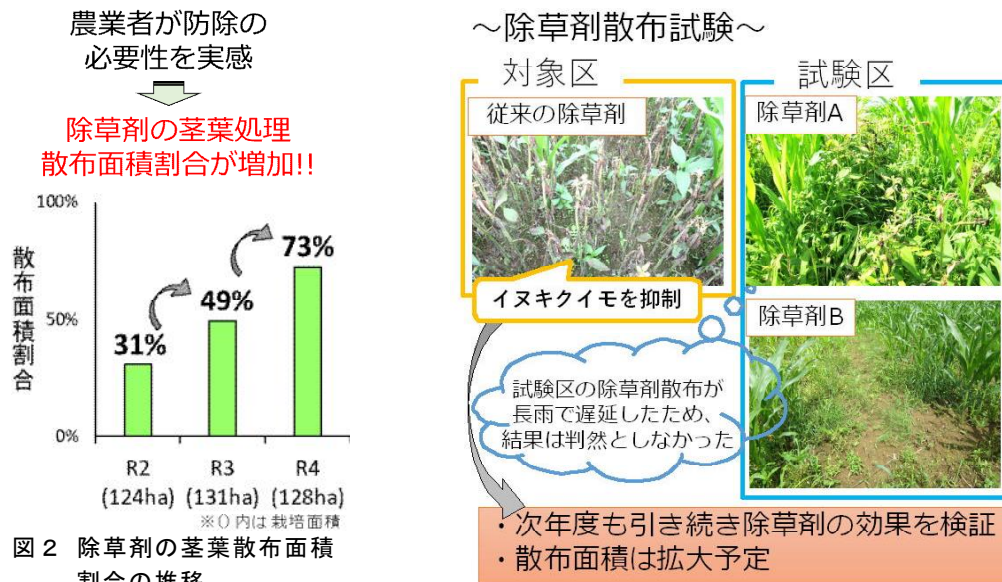
除草剤試験および電気柵の下草の状態を経過観察

R5年2月
除草剤の茎葉散布試験の結果報告および次年度の計画検討会

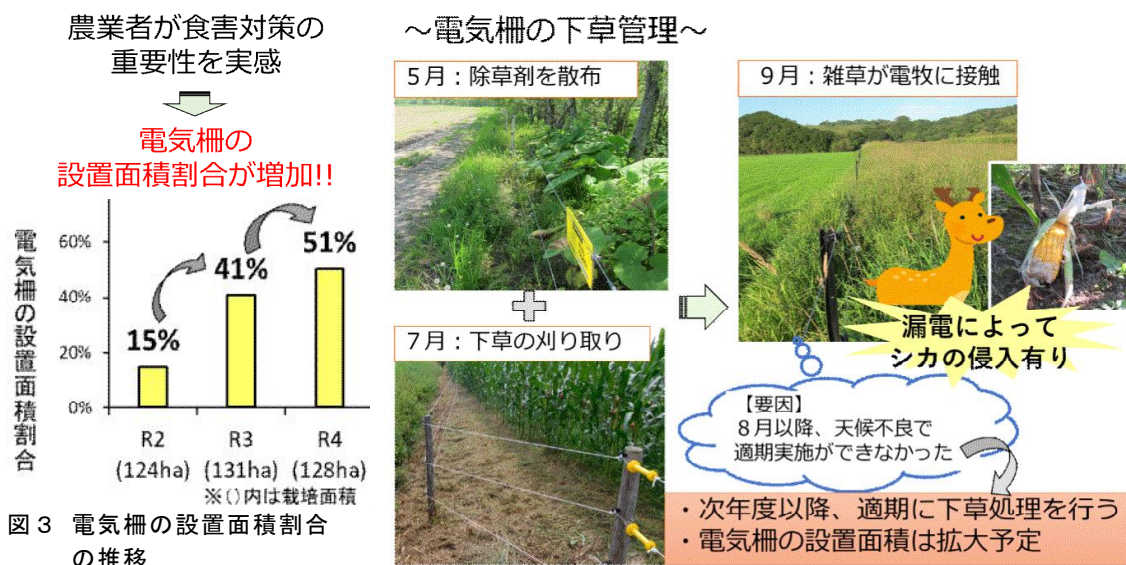
2 活動の成果

(雑草防除・シカ食害防止対策実施 2項目 → 2項目 → 2項目)

(1) イヌクイモ防除に向けた除草剤の茎葉散布面積の拡大 および除草剤散布試験の実施



(2) 電気柵設置面積の拡充によるシカ食害防止および電気柵の下草管理



【まとめ】除草剤茎葉散布効果の確認や電気柵管理の提案により、対策実践面積は増加し、飼料用とうもろこしの安定生産の取組は定着した。しかし、令和4年の収量は1.9t/10aと減収し、その要因は生育初期の湿害であった。

3 今後の活動

除草剤の茎葉散布および電気柵によるシカ食害対策は、継続的に実践されているため、今年度で本課題を終了する。次年度からは新たに、飼料用とうもろこしほ場の排水改善を課題に取り組む。